

宮津市府中地区におけるグリスロを活用した再エネまちづくりの試行

～地域と連携した実証実験～

(株) オリエンタルコンサルタンツ ○ 中 井 智 仁
(株) オリエンタルコンサルタンツ 土 屋 克 貴
(株) オリエンタルコンサルタンツ 土 崎 伸

1. 背景と目的

宮津市では再エネ活用を推進しており、その手段として、グリーンスローモビリティ（以下グリスロ）によるエコ観光地づくりを位置づけている。しかし、新しいモビリティサービスの導入は需要確保もさることながら運用面でのハードルが高く、実装化は容易ではない。そのため、ニーズや地域の課題意識が高い府中地区において、実証実験を通じて、地域と行政が連携してグリスロを活用していただける仕組みづくりを行うこととした。

2. プロジェクトの内容

地域による参画を得ながら、活用・運用がどの程度可能であるかを把握・共有化するために、地元住民や関係者にガイドや送迎、予約受付等を実施してもらうことを基本に、極力地域関係者に内容を検討していただく形で、検討・調整を行った。その結果、地域の観光資源をつなぐために、考えられる車両の使い方を試しつつ、無理のない形で日常生活面での活用も図る方針とした。

上記を踏まえ、令和5年10月～11月にかけて、観光ガイドツアー（図2）およびシャトル運行（図3）、デマンド型の日常移動支援（図4）を試行する実証実験を行った。



図2 観光ガイドツアーの運行ルート

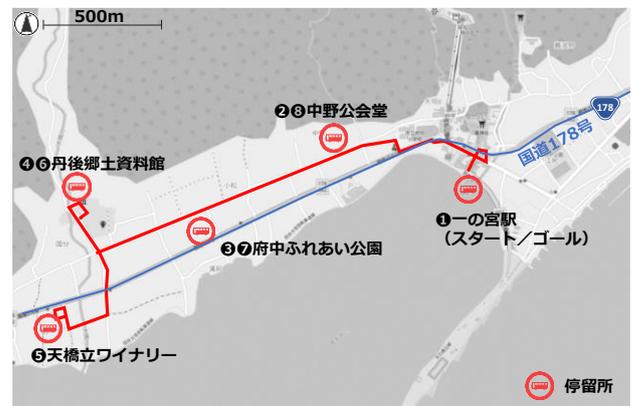


図3 シャトル運行の運行ルート



図1 使用した車両

(地元小学生によるラッピングを実施)

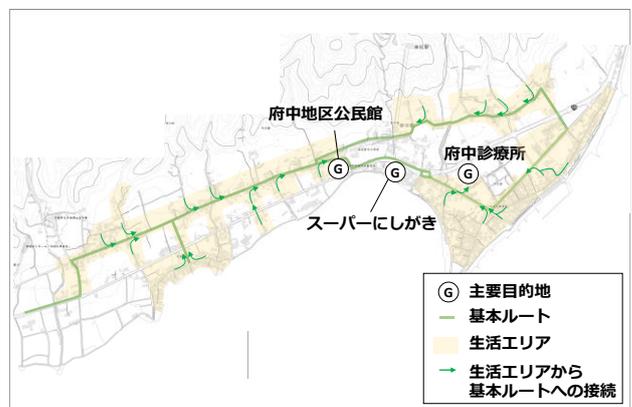


図4 デマンド移動支援の運行ルート

3. 効果

地元住民がガイド・送迎を行ったガイドツアー、デマンド移動支援は、利用者からの評価が特に高く、ドライバー側の満足度も高かった(表1)。また、一部の店舗がグリスロ利用者に対し商品割引を行う等の連携も見られた。さらに地元観光会・民生児童委員等からも活用に対し前向きな意見(協力体制や地元主体での実施についての同意等)を得ることができた。一方で、今回の実験では、ガイドツアー、デマンド移動支援の利用者は、当日の呼び込みやモニターの事前設定を行ったため、実際のニーズで継続的な運行が可能かは不明確である。

4. 結論

実証実験という限定的な期間・環境下では、府中地区の観光PRや高齢者の外出支援等に効果的であることを確認したが、実際のニーズに応じた運行や料金収受とのバランス等、現実的なレベルでの効果的・継続的な運行が可能かは不明確である。引き続き、グリスロをより効果的に使うための検証や実際のニーズに合わせた運行方法の確認を進める。

表1 利用者・ドライバーの声(一部抜粋)

観光ガイド	
利用者	<ul style="list-style-type: none">・グリスロに地元の小学生のシールがあり、地域の方々となじんでいたのが良かった。・楽しい時間を過ごす事ができた。実用化されたらまた利用したい。・歩いては行けない所にたくさん行けた。・ガイドさんの話が良かった。
ドライバー	<ul style="list-style-type: none">・地元ならではの話を楽しんでもらえることが多かった。・ワイナリーで試飲やソフトクリーム、パン、お土産の購入ができて嬉しそうだった。・足の不自由な方が歩いていくのが大変な眞名井神社に行けて喜んでいた。・天平の道等の観光マップにない場所に行けて喜んでもらった。
シャトル運行	
利用者	<ul style="list-style-type: none">・運転手さんと楽しく会話できて楽しかった。・ワイナリーに行きたかったのでシャトルバスがあって良かった。・まち全体の協力体制を感じた。・ルートがすごくよかった。
デマンド移動支援	
利用者	<ul style="list-style-type: none">・好きな時間に来てくれるのでありがたい。・買い物ができる点が良い。・安心して乗れる点が良い。
ドライバー	<ul style="list-style-type: none">・ドライバーとの会話の中でも高評価で、楽しそうに乗っていた。・地元の知っている人がドライバーをしていたので、安心して乗っていた。・買い物の付き添いもしてもらえて喜んでいた。